

腐敗行為防止のための 行動規範

*This translation is for the local use only; the reference document is the master one in English;
translations are supervised by the FAURECIA Group Communications Department.*

Being Faurecia

はじめに

フォルシアの**倫理規範**は、フォルシアグループの企業内での腐敗行為禁止に関する理念を明記するものです。フォルシアグループは、いかなる腐敗行為も非常に深刻なものであると考えており、この点に関して違反を一切許さない姿勢を貫いています。

本腐敗行為防止のための行動規範は、この理念を再確認するものであり、その具体的な目的は、全世界のフォルシアグループ全管理職および従業員が以下を行えるようにすることにあります。

- 腐敗行為防止の基本理念をよく理解する。
- 自らの行動を律する方法を思い起こすことにより、腐敗行為の誘惑に抵抗する。このために、本規則では、リスクのある状況に関する具体例を提供しています。
- 全管理職および従業員、フォルシアグループ、ならびにその子会社を禁固刑や罰金の危険から保護し、その社会的地位と誠実さを保つ。

この規範に違反すると、法的および財務的に重大な結果を招く可能性があり、またフォルシアグループの社会的評価が長期的に損なわれる場合があります。

この行動規範は、フォルシア従業員全員に適用されます。

従って、フォルシアグループは、各従業員に本規範の理念と規則を尊重するよう求めています。この腐敗行為防止のための行動規範に加えて、この規範の適用方法に関する一連の規則があります(Faurecia Core Procedures)。フォルシア従業員全員は、これらの規則を読むようにしてください。

目次

I. 腐敗行為とは何か	04	III. 困ったときには？	16
II. リスクのある状況とは何か	08	IV. 違反したときの処分等について	20
1. 贈答品と接待			
2. ファシリテーション・ペイメント			
3. 慈善目的の寄付とスポンサーシップ			
4. 利益相反			
5. 第三者に対する評価			
a. 仲介者の利用			
b. 会社合併・買収プロジェクト、少数株主として、または取引上・戦略的パートナーシップとしての出資			
6. 政治献金			



腐敗行為とは何か

I - 腐敗行為とは何か

フォルシアグループは、腐敗行為を一切許さない姿勢を貫いています。

「**腐敗行為**」とは、個人が自らの意志で、または勧誘を受けた後に、贈答品、約束、または何らかの利益（賄賂）を以下の者に申し出る行為をいいます。

- 公務員、または、特定の民間部門での地位にある者で、自分の役割に直接または間接的に関わる行為の実行、妨害、または中止を行う権限を保持している者。
- 当局または行政機関のから特別な待遇、仕事、契約またはその他の有利な決定を得るために、自分の影響力を行使する個人。ここにいう影響力は、実際にあるか、そのように受け止められているかを問いません。

「公務員」とは、政府機関に勤務する者、公共サービス機能¹を提供する者、または選挙公約を行う者をいいます。

腐敗行為には、**能動的**なもの、**受動的**なものがあります。

- ある者が賄賂を提供するとき（腐敗行為者）、それを **能動的**であると言います。この行為が自発的なものではないとしても該当します。
- ある者が賄賂を示唆したり受諾したりするとき（腐敗行為受益者）、それを **受動的**であると言います。

以下の例、

「現金かギフトカードで100ユーロをいただければ、あなたの案件を早く進めましょう」

において、腐敗行為者（能動的腐敗行為）は現金かギフトカードで100ユーロを与える人であり、腐敗行為受益者（受動的腐敗行為）は100ユーロの賄賂を受け取り、腐敗行為者の案件を早く進める者です。

¹ これには、特に、国営企業に勤務している人、民間企業に勤務しているが公務を遂行している人、または国際的な公的機関に勤務している人が含まれますが、これらに限られません。

腐敗行為には、直接的なものと同接的なものがあります。当社の代理として機能する第三者が賄賂を支払った場合、これを間接的であると言います。

広義の腐敗行為が、能動的・受動的の別を問わず、どのような形であれ、禁止されています。

賄賂の差出しや受取りは、以下のような様々な形を取り得ます。

- 金銭的な利益現金、商品券、値引き等
- 個人的な利益贈答品、招待、無料サービス、サービスの提供等

贈収賄はいろいろな方法で隠蔽されており、複雑で追跡が難しい場合があります。以下がその例です。

- 「私が署名する見返りに、あなたからこの5,000ユーロを直接受け取るのは、私にとってリスクが大きすぎると思われます。ですから、あなたが仲介者（もちろん私の友人です）を指名して、「技術研究」を委託し、その見返りとして5,000ユーロを支払ってくれば都合が良いのですが。」
- 「貴社のマージンの10%を私にできれば、いい値段で入札に勝てるようにしてあげますよ。私は物流マネージャーで、社内で私を助けてくれる友人がおり、貨物運送業者を選ぶ権限があるのです」



リスクのある状況とは何か

II - リスクのある状況とは何か

1. 贈答品と接待

原則として、贈答品や接待（例えば、スポーツイベント、ショー、またはレストランへの招待）の申し出と受け取りは、それらが妥当な金額であり（したがって上限が定められている）、業務に関係があり、かつ見返りとして不当な優位性を期待していない場合、許可されることがあります。

以下は、適切な言動の例です。

- ▶ 「当社の贈答品と接待に関する規程を遵守し、申し出たり受け取ったりする贈答品と接待が、常に妥当かつ許容範囲内に収まるようにしなければなりません。」
- ▶ 「私は、自分のビジネスパートナーが、当社の贈答品と接待に関する当社の規程をよく理解するようする必要があります。同様に、私のビジネスパートナーの贈答品と接待に関する規程も、私は知っておく必要があります。」
- ▶ 「贈答品と接待の金額評価について疑問がある場合、上司またはコンプライアンス組織に相談する必要があります。」

以下は、禁じられた言動の例です。

- ▶ 「まだ行ったことのない3つ星レストランがあるんです。ぜひそこで食事に招待してくださいよ。そうしてもらえれば、御社の新製品を買う決心がつくかもしれません。」
- ▶ 「ラスベガスへの家族旅行を手配したいのですが、ホテルと交通手段の手配に手を貸してくれますか？ 御社が現在入札している最近のプロジェクトが最終段階に達しているのですが、御社を落札先として考えておきましょう。」
- ▶ 「私からのお年賀としてこのナマコ入り詰め合わせ箱を持って行ってください。非常に安い価格で手に入れたのですが、上物です。1グラムあたりわずか1,000ユーロです。ところで、最近のプロジェクトでは本当にありがとうございました、貴社の助けなしでは成功できませんでしたよ。」

この点について、当社の規程文書 **FAU-S-LSG-2404**（贈答品と接待）を参照してください。フォルシアのドキュメンテーション・イントラネット・ライブラリー、FCPに掲載してあります。贈答品や接待が、**FAU-S-LSG-2404**（贈答品と接待）および **FAU-C-SPG-4051**（グローバル出張規程）を遵守したものでない限り、これらを拒否しなければなりません。

2. ファシリテーション・ペイメント

ファシリテーション・ペイメントとは、フォルシアが行政上の手続きを加速することを合法的に希望する場合、これを目的として支払う、公務員を対象とした少額の現金または贈答品です。

フォルシアでは、たとえ関係国で合法とされ、または許容される場合でも、ファシリテーション・ペイメントを禁止しています。このような支払いを勧誘された場合、必ず断ってください。

ただし、特に、フォルシア従業員の安全や健全な身体が脅かされている場合等の例外的な状況では許可されることがあります。そのような状況では、できるだけ早く経営幹部またはコンプライアンス組織に連絡してください。

以下は、適切な言動の例です。

- ▶ 「ファシリテーション・ペイメントの支払いを要求されている時は、上司またはコンプライアンス組織に相談する必要があります。」
- ▶ 「ファシリテーション・ペイメントとなる可能性があるとき、確認となる文書や証拠を保存し、取引が正しく記録されるようにしなければなりません。」

以下は、禁じられた言動の例です。

- ▶ 「50ユーロ札一枚で、ビザの発給が早くなりますよ。」
- ▶ 「私は今、営業許可の更新申請をととてもたくさん抱え込んでいます。ところで、私はフランスのシャンパンが本当に好きなんですが。」
- ▶ 「おたくの会社のパレット・コンテナが税関で止められています。力を貸してくれそうな知り合いがいるのですが、その人は、その代わりにおたくの会社のパレットを一つくれないかと言っています。」

II - リスクのある状況とは何か

3. 慈善目的の寄付とスポンサーシップ

慈善目的の寄付とスポンサーシップは、原則として許可されます。ただし寄付をする前に、寄付を受ける団体の管理者や受益者の性質と実体を知る、すなわち、彼らがどれほど信頼でき、評判が良いか、そしてその経歴や沿革について知っておくことが重要です。

不適切な言動を奨励したり不当な利益を得たりする目的で行われ、またはその目的で行われたと受け止められるおそれがある場合、たとえ慈善活動の追求する目的が合法的であっても慈善目的の寄付を禁止します。

従い、慈善目的の寄付とスポンサーシップの受益者について、その評判と経歴や沿革を検証することをお勧めします。

最後に、いずれの場合も、これらの慈善目的の寄付やスポンサーシップは、決して現金や個人名義で開設された口座に支払ってはなりません。

以下は、適切な言動の例です。

- ▶ 「寄付については、できれば世界的に有名な組織に対して行い、資金の使用が当初の要請内容と一致していることを確認するべきです。」
- ▶ 「慈善目的の寄付およびスポンサーシップは、腐敗防止に関する規定を記載した契約について合意することを条件としなければなりません。」
- ▶ 「慈善目的の寄付とスポンサーシップは、正確かつ透明性をもって記録され文書化されるべきです。」

以下は、禁じられた言動の例です。

- ▶ 「契約締結の謝礼として、Animal Foundationの慈善活動に寄付していただけますか？ 私は、この基金のことを良く知っています。私の友人が運営していて、寄付してくれたら、私にもお礼をしてくれるんです。」
- ▶ 「当社が御社の製品を買うためには、今度当社が主催するスポーツイベントのスポンサーになっていただかないと。御社は、当社と同じくらいスポーツがお好きでしょう？」

この点について、当社の規程文書 **FAU-S-LSG-2405** (寄付とスポンサーシップ)を参照してください。フォルシアのドキュメンテーション・イントラネット・ライブラリー、FCPIに掲載してあります。フォルシア従業員は、本書に記す規程を遵守しないスポンサーシップの話や慈善目的の寄付に対して、参加を拒否しなければなりません。

4. 利益相反

利益相反とは、自分の職務の活動に影響を与える可能性がある、または影響を与えるように思われる個人的な利益がある状況を指します。この利益は、直接的または間接的であり得、自分または自分に近い間柄の人に関わるものです。この利益は非常に多様なものになり得ます（金銭的、経済的、専門的、政治的、個人的など）。

以下は、適切な言動の例です。

- ▶ 「直接的または間接的な利益相反の可能性がある場合、管理者またはコンプライアンス組織に通知し、これに関する事項についての議論や意思決定プロセスへの参加を控えなければなりません。」
- ▶ 「利益相反の可能性について疑問がある場合は、上司、人事サポート、N+2の管理者、人事、またはコンプライアンス組織に相談しなければなりません。」

以下は、禁じられた言動の例です。

- ▶ 「私の子供を採用していただけたら、貴社の製品を買いましょう。」
- ▶ 「貴社の部品は、私の兄弟が検査するんです。ですから、検査不合格の部品があっても問題にはなりません。」
- ▶ 「私の妻の倉庫会社は当社の顧客のすぐ近くにあります。購入した製品の保管はその倉庫を借りてください。貴社の購入契約で発生する費用を補填する方法を見つけてあげますから。」

この点については、当社の規程 **FAU-S-LSG-2406**（利益相反（「COI」）の管理）を参照し遵守してください。フォルシアのドキュメンテーション・イントラネット・ライブラリー、FCPIに掲載してあります。

II - リスクのある状況とは何か

5. 第三者に対する評価

a. 仲介者の利用

コンサルタント、ロビイスト、またはその他のビジネス仲介者など、仲介者を使用すると、特に一部の国で腐敗行為のリスクが高くなります。従い、デューデリジェンス監査を実施して仲介者の評判と経歴をチェックすることが不可欠です。得られた情報によっては、その仲介者との取引に入らない決定をすることもあります。

この点については、当社の規程 **FAU-S-LSG-2522** (第三者への倫理・コンプライアンスデューデリジェンス)を参照し、遵守してください。フォルシアのドキュメンテーション・イントラネット・ライブラリー、FCPに掲載してあります。

仲介者が行う業務を定期的に必ず監視してください。仲介者に何らかの兆候、例えばビジネス上の評判の悪さ、透明性の欠如、不釣り合いな報酬水準、現金での支払いの要求などがある場合、より詳細な分析を行ってください。

以下は、適切な言動の例です。

- ▶ 「仲介者と締結する契約には、汚職防止に関する規定、およびこれらの義務が尊重されない場合に締結された契約が解除される可能性がある旨の条項を、必ず盛り込まなければなりません。」
- ▶ 「仲介者の選定と起用には、適切なレベルのデューデリジェンスを実施する必要があります。」

以下は、禁じられた言動の例です。

- ▶ 「この取引を行いたければ、前金として10,000ドルをお支払いいただけないでしょうか。そうすれば、書類作成ができるのですが。」
- ▶ 「仲介者としての私への報酬については、現金払い、またはパナマにある私の兄弟の口座への送金をお願いします。」
- ▶ 「私には広い人脈があります。あなたがこの地域で製品を売りたいのなら、私のリソースを利用しなければなりません。については、手数料として、契約の合計額につき5%を私の親友を通じて支払うということであれば、合意できると思いますが。」

b. 会社合併・買収プロジェクト、少数株主として、または取引上・戦略的パートナーシップとしての出資

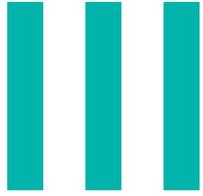
仲介者の場合と同様、会社の買収、少数株主としての出資、または戦略的パートナー会社を捜すなどのを含む特定の業務については、予定された業務に関連する腐敗行為リスクを特定するために必要なデューデリジェンス検証手続きを正しく実行する必要があります。

フォルシアは、パートナーシップ関係における提携相手の行動に対して責任を負うことがあり、その責任は、合併または買収の枠組みの中で、買収者の責任の条件に従って引き受けます。これは、買収前の腐敗行為についても適用される場合があります。従い、合併や買収、または潜在的なパートナーシップ関係に関わる業務においては、対象会社すべてに対してその評判や沿革を詳細に調査することが不可欠です。

この点については、当社の規程 **FAU-S-LSG-2522**（第三者への倫理・コンプライアンスデューデリジェンス）を参照し、遵守してください。フォルシアのドキュメンテーション・イントラネット・ライブラリー、FCPIに掲載してあります。

6. 政治献金

フォルシアの名義、またはフォルシアの代理として政治献金を支払うことは禁じられています。



困ったときには？

III - 困ったときには？

違反のおそれ、または本規範が取り扱う事項に関して懸念がある場合、フォルシア従業員は、以下の者や部門と相談することができます。

- 上司または管理者
- 人事マネージャー
- コンプライアンス組織

重大な違反がある場合、フォルシア従業員には、その報告に内部通報窓口 (www.faurecia.ethicspoint.com) を設けています。

本人情報は秘密として取り扱います。

この点については、当社の規程 **FAU-S-LSG-2402** (自由に発言する)を参照し、遵守してください。フォルシアのドキュメンテーション・イントラネット・ライブラリー、FCPに掲載してあります。

IV

違反したときの処分 等について

IV - 違反したときの処分等について

腐敗行為防止のための行動規範の規定に違反した場合、懲戒処分等に加え、民事および刑事上の制裁、特に禁固刑や多額の罰金が課される場合があります



23/27 av. des Champs Pierreux. 92000 Nanterre. France
Tel: +33 (0)1 72 36 70 00 – Fax: +33 (0)1 72 36 70 07
www.faurecia.com